

2026 年 7 月 15 日

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）のルート案のとりまとめを受けて

北陸経済連合会
会長 金井 豊

本日、与党の北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会において、小浜・京都ルートの桂川案が、着工 5 条件の充足を図るルート案としてとりまとめられた。大変困難な状況の中、とりまとめにご尽力いただいた委員各位をはじめ関係の皆さまに敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

北陸経済連合会としては、引き続き北陸三県および関西の経済団体との緊密な連携のもと、北陸新幹線の一日も早い全線開業の実現に向けて取り組んでまいりたい。

一方で、北陸経済連合会がこれまで主張してきた京都駅直結の南北案ではなく桂川案でとりまとめられたことから、北陸地域の利用者にとっての利便性や交流促進効果への影響が懸念される。今後、北陸新幹線の整備効果が最大限に発揮されるよう、関係機関とも十分に協議しながら必要な働きかけを行ってまいりたい。

以上